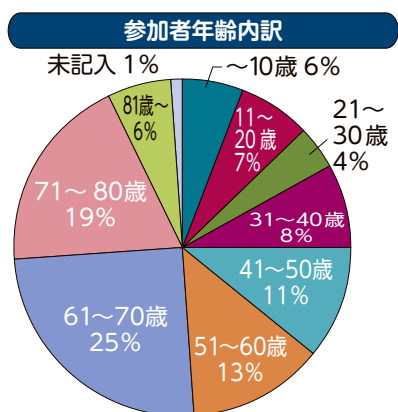


夜間津波避難訓練の結果を報告します

3月に4日間に分けて実施しました夜間津波避難訓練には、計880人の参加がありました。地区別詳細は以下のとおりです。

実施日	地区	参加者数
3月 7日	本浦	181人
3月 8日	大明東、大明西、安久志	299人
3月10日	今浦、石鏡	123人
3月11日	安楽島、高丘、さくらが丘	277人

今回の訓練では、避難した訓練参加者にアンケートを実施し、以下の結果が得られました。



性別は? 男性41% 女性59%

避難目標時間までに避難できましたか?
目標クリア97% 目標オーバー3%

懐中電灯を持って避難しましたか? はい92% いいえ8%

家族や近所の人と避難してきましたか?
はい77% いいえ23%

避難中に危ない所や困ったことはありませんか?
はい25% いいえ75%

訓練参加者のうち51歳以上が半数を占め、若年層の参加が少なくなっています。これは昨年11月に他の地区で実施した際と同じ傾向です。市内の小中学校では日頃から避難訓練に取り組んでいますが、夜、家にいるときに地震が発生したらどのように避難したら良いか戸惑う子どもも多いのではないのでしょうか。場面が変われば、取るべき行動も変わります。家族で訓練に参加し、どのような状況でも確実に避難できるように備えましょう。

今後の訓練予定

未実施の鳥羽・加茂・離島地区については、平成28年11月、平成29年3月頃に分けて実施する予定です。

昨年4月に男女共同参画に関する市民アンケートを実施しました。このアンケートは、「男女平等について」「家庭生活や子育てについて」「福祉（高齢・障がい）、健康管理について」「仕事について」「社会活動について」「人権、DV（ドメスティック・バイオレンス）などについて」「男女共同参画社会について」といった項目別に行いました。

「男女平等について」では、男女共同参画という言葉について知っていますかという問いに対し「言葉の意味も知っている」「聞いたことはあるが意味は知らない」と答えた方が、約7割近く見えました。

では、あらためて男女共同参画とは「男女が社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均

等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべきこと」です。（男女共同参画社会基本法第2条）みなさんはご存知でしょうか。

また、別の問いでは「男は仕事、女は家庭」という考えかたについて聞いたところ「そう思う」4.3%、「どちらかといえばそう思う」33.3%、「どちらかといえばそう思わない」22.0%、「そう思わない」36.5%となりました。

年齢別に見てみると20代〜40代は、「そう思わない」に近い意見が多く、50代以上の方に「そう思う」に近い意見が多い結果となり、三重県の調査でも同様の結果となっています。

これらのことから固定的な性別役割分担意識は少しずつですが、薄れてきているといえるのではないのでしょうか。

総務課防災危機管理室



25

1118

一人一人が備えてこい！
防災力UP！鳥羽



イコ
パ
シ

Vol.121



市民アンケート
その1

市民課人権・生活係

☎ 25 1126